

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）						KPI（成果指標②）						予算額（千円）	決算額（千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性			
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値	実績値	達成率	事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値						実績値	達成率	
I 「稼げるまち」の実現																								
産業用地の創出・確保	1	地域未来投資促進法を活用した産業用地整備推進事業	製造業等の企業誘致を推進するため、高速道路インターチェンジや幹線道路に近いなど、産業用地として競争力が高い地区について、地域未来投資促進法の活用等による民間開発を促進し、産業用地の整備を推進する。	企業誘致課	地域未来投資促進法を活用した産業用地創出面積	R7～R10	—	—	単年度目標なし（R10までに20ha）	0 ha	—								6,300	5,957	概ね順調	令和6年度に地域未来投資促進法の手続きに1件着手することができたほか、開発事業者等からの問合せが約50件あり、このうち具体的な開発計画の相談を受けているものが10件以上あることから、令和10年度までに20ha確保の目標に向け、「概ね順調」と判断した。 引き続き、民間事業者と協調しながら取組を進めていきたい。	継続	
スタートアップの創出・成長（社会課題解決に資する企業の育成・支援）	2	企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業	市内スタートアップの成長加速化を促進する「成長支援プログラム」と、スタートアップによる行政課題解決や市内企業との協業を促進する「イノベーション支援プログラム」によって、スタートアップに対し資金支援・伴走支援を実施する。 また、北九州市の様々な課題とスタートアップをマッチングし、解決する共創プラットフォームを運用する。	スタートアップ推進課	支援先スタートアップの新規雇用人数（市内）	R8	—	—	10人	8人	80.0%								84,500	83,044	概ね順調	支援するスタートアップの社数は目標を上回っており（目標：12社、実績：13社）、支援先スタートアップの市内における新規雇用人数についても、目標値の80%を達成していることから、「概ね順調」と判断。	継続	
	3	スタートアップ起業家育成サポート事業	学生を対象とした起業家を育成する体験プログラムを実施するとともに、北九州市から起業家を輩出し育成する民間主体のアクセラレーションプログラムの取組に対する助成などを通じて、北九州市内でのスタートアップ創出に取り組む。	スタートアップ推進課	起業に関心を持った生徒の割合	毎年度	60.0%	R5	70.0%	73.1%	104.4%								3,000	2,075	順調	市内の小・中学生を対象に、起業家との出会い、社会課題の解決アイデアを考えるワークショップを通じたアントレプレナーシップ（起業家精神等）醸成のプログラムを3校で実施した結果、起業に関心を持った生徒の割合が、目標を達成したため、「順調」と判断。	継続	
	4	北九州テレワークセンター管理運営事業	創業支援の中核施設として、資金の乏しい創業期の企業に安価な小規模オフィスやコワーキングスペースを提供するとともに、創業相談や事業拡大支援、起業家や起業を目指す方の交流、各種セミナーなどを実施し、北九州市の創業シーンの活性化を目指す。	スタートアップ推進課	施設入居率	毎年度	97.0%	R5	95.0%	98.0%	103.2%									104,180	93,661	順調	相談受付件数については令和5年度（678件）より減少したものの、目標を上回っている（目標：650件、実績：653件）。 また、指定管理者の持つ知見やノウハウを活かした効果的な運営により、高い入居率を維持しているため「順調」と判断。	継続
	5	若者ワークプラザ北九州、U・Iターン応援プロジェクト運営事業	概ね40歳までの若年者及び就職氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等の実施により、若年者の就業支援を実施する。 U・Iターン応援プロジェクトでは、市外からのU・Iターン希望者と市内企業とのマッチングを支援し、市外からの人材還流及び市内企業の人材不足解消を目指す。	雇用・産業人材政策課	就職決定者数（プラザ）	R7	935人	R5	1,300人	1,041人	80.1%	就職決定者数（UI）	R7	234人	R5	300人	256人	85.3%	129,512	127,312	概ね順調	若者ワークプラザ北九州では、概ね40歳までの若年求職者を対象に、就職相談、就業関連情報の提供、セミナーの開催等を通じて就職支援を実施した。大学・専門学校等へPRを強化し、利用促進に取り組む。 U・Iターン応援プロジェクトでは、U・Iターン就職希望者と市内企業をつなぐ本市独自の取組として、専任コンサルタントによるカウンセリングや新規求人発掘を実施した結果、過去最多の就職決定者数を更新した。 令和7年度は年間を通じたイベントや職場体験ツアーの実施、同窓会ネットワークを活用した積極的な情報発信を行い、U・Iターン就職の促進を図る。	拡充	

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）						KPI（成果指標②）						予算額（千円）	決算額（千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性						
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値		実績値		達成率	事業目標	目標年度	基準値						基準年度	目標値		実績値		達成率
									数値	割合	数値	割合											数値	割合	数値	割合	
	6	学生の地元就職促進事業	大学生等のインターンシップや高校生の就職ガイダンス等の実施を通じて、生徒・学生と地元企業との出会いの場を広く提供するほか、民間プラットフォームを活用し、市内出身者やゆかりのある方への情報発信や地元企業との交流を図る。	雇用・産業人材政策課	新卒学生の地元就職率	R10	35.7%	R4	35.8%	35.9%	100.3%								29,500	28,417	順調	北九州商工会議所や地元企業、市内大学等と連携し、インターンシップやバスツアーを実施した他、企業研究イベントの開催等に取り組んだ。 今後は、新たに高校生を対象とした就職ガイダンスや、アルムノート社との連携による市内企業と九州エリアを中心とした大学生との交流イベントの開催など、学生と企業の交流の機会を創出していく。	拡充				
	7	北九州ゆめみらいワーク事業	「仕事」と「学び」をテーマとした体験・交流イベントの開催を通じて、若者のキャリア形成や将来の市内就職につなげる。 開催10回目にあたり、様々な職業についての学びや理解がより深まるよう、充実した体験プログラムを展開する。	雇用・産業人材政策課	アンケートにおいて、本イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した出展者の割合	R10	95.0%	R5	95.0%	96.0%	101.1%	アンケートにおいて、本イベントの感想を「良かった」「大変良かった」と回答した来場者の割合	R10	89.0%	R5	89.0%	91.0%	102.2%	25,000	28,752	順調	北九州市内に事業所がある企業や団体、大学等が工夫を凝らしたブースを出展し、中学生や高校生が仕事体験を行い、社会人や大学生等との交流を行うイベントを実施した。 令和7年度は、様々な職業に対する学びや理解がより深まるよう、新たなコンテンツの強化に取り組むとともに、商業施設におけるリアルな職業体験の実施や開催日の拡張を通じて、イベント内容のさらなる充実を図る。	継続				
	8	地域の人事部支援事業	若い世代の人材不足が強まるなか、採用にコストや人を割けない中小企業では、人材確保が困難な状況にあるため、企業合同による人材の発掘からマッチングづくりを一気通貫で支援し、若手人材の確保と定着を図る。 併せて、経営層等に対して、多様な人材が働きやすい環境づくりや、人材育成など人的資本経営の重要性を理解するためのマインドセットセミナーを行いサポートする。	雇用・産業人材政策課	最終選考候補者数	R8	—	—	30人	30人	100.0%							20,000	19,280	順調	当事業では、「地方創生」「業界研究」「マーケティング」などのワークショップや2泊3日の合宿などを年間通して、市内外の大学生と市内企業の人事担当者が共に取り組んだ。 こういった学生と企業との交流を深めることにより、「地元で貢献したい」から「市内企業を知ってもらおう」に繋げ、「地元で就職し、自分達が地元を盛り上げる」というマインドを高めていった。 事業後半には、企業とのマッチングイベントや模擬面接など、就職に直結するコンテンツを用意し、学生の地元就職への確度を高めるプログラムを展開した。 令和7年度は、令和6年度の取組に加え、参加企業の福利厚生や働きやすさ等の自社の魅力を学生にプレゼンし、それを学生が評価・順位付けを実施する「自社の自慢コンテスト」の開催や、若手社員のエンゲージメント向上のため、異業種間の若手社員交流会や合同研修も開催し、企業の人材定着の推進を図るために事業拡充するもの。	拡充					
女性のキャリア形成支援	9	女性のはたらく応援事業	女性の就業を促進するため、家庭と仕事の両立や勤務時間の制約など女性特有の課題に対応した多様な働き方を提示するとともに、未就業女性と企業の交流会、働く女性のキャリア形成支援など、多方面から「女性のはたらく」を応援する。	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	R7	624人	R5	700人	576人	82.3%							5,072	4,224	概ね順調	多様な働き方を紹介する女性向けの起業セミナーや在宅ワークセミナー等を開催した。 ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数が目標値の8割を上回ったため、「概ね順調」と判断。	継続					
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	10	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	国・県・市の3者が緊密に連携し、就職、キャリアアップ、創業、子育てとの両立など、女性の職業生活における活躍をワンストップで総合的に支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	雇用・産業人材政策課	ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数	R7	624人	R5	700人	576人	82.3%							31,316	30,967	概ね順調	国や県などの関係機関と連携して、「ウーマンワークカフェ北九州」を運営し、就業や子育てとの両立など女性の職業生活における活躍をワンストップで総合的に支援した。 ウーマンワークカフェ北九州就職決定者数が目標値の8割を上回ったため、「概ね順調」と判断。	継続					

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）									KPI（成果指標②）									予算額（千円）	決算額（千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値		実績値		達成率	事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値		実績値		達成率					
									人	人	人	人						人	人	人	人						
多様な人材（高年齢者、外国人）の活用による人材確保	11	外国人材活用の普及・啓発事業	海外において優秀な外国人材獲得のチャンネルを拡充するとともに、外国人材の雇用を必要とする市内企業への需要喚起、課題解決支援及び就職後の定着支援を行う。	国際ビジネス戦略課	北九州地域の外国人労働者数	R11	9,183人	R5	10,580人	10,384人	98.1%									12,200	11,612	概ね順調	外国人材活用促進として、セミナー等の情報発信事業、留学生と企業のマッチング事業及び海外大学と連携したインターンシップ事業などを実施した。北九州地域の外国人労働者数は目標値（10,580人）に届かなかったが、外国人材の導入支援企業数は目標値（500社）に達したため、「概ね順調」と判断。	継続			
	12	高年齢者就業支援センター運営事業	元気で働く意欲のある高年齢者が、豊かな経験や能力を生かし、生涯現役でいきいきと働けるように、就業相談やキャリアコンサルティング、資格取得サポートを実施するとともに、シニア・ハローワークなど各種支援機関と連携してワンストップで就職支援を行う。	雇用・産業人材政策課	高年齢者就業支援センター就職決定者数	R7	1,096人	R5	1,250人	1,055人	84.4%									31,857	30,743	概ね順調	高年齢者就業支援センターを拠点として、高年齢者に対する就業支援を実施するとともに、就業に関連するセミナーを開催した。高年齢者就業支援センターの延べ利用者数（目標：10,000人、実績：8,840人）および就職決定者数がいずれも目標の80%を超えたことから、全体として「概ね順調」と判断。	拡充			
バックアップ首都構想の推進	13	北九州市産業振興未来戦略推進事業	「稼げるまち」の実現に向けて、「北九州市産業振興未来戦略」の実効性を高めるため、「北九州市成長戦略会議」におけるKPI達成に向けた戦略全体の進捗管理及び「官民対話テーブル」におけるリーディングプロジェクトの推進を図る。	産業政策課	市内総生産4兆円（R15年度）	R15	3.7兆円	R2	4.0兆円	3.9兆円	97.5%									3,000	510	概ね順調	令和6年度は、稼げるまちの実現に向け、経済界と行政が一体となり、街ぐるみで「北九州市産業振興未来戦略」を推進する連携組織を設置した。事業目標（市内総生産4兆円）に対し、達成率97.5%（3.9兆円）のため、「概ね順調」とした。引き続き、街ぐるみで取組を推進していく。	継続			
	14	企業立地促進補助金	企業誘致のインセンティブとするため、企業に対し、設備投資額、雇用人数に応じ、補助金を交付する。	企業誘致課	企業誘致における新規雇用創出数R6～R10（累計）	R6～R10（累計）	4,335人	R元～R5（累計）	R6～R10累計5,100人（R6：1,020人）	R6～R10累計1,606人（R6：1,606人）	157.5%									863,700	401,600	順調	半導体や次世代自動車、蓄電池などの「未来産業」を中心に、企業誘致に取り組んでいる。企業のニーズに応じた具体的な提案や誘致支援により、誘致件数（93件）と新規雇用創出数（1,606人）ともに増加傾向にあるため順調と判断。今後も引き続き誘致活動に取り組んでいく。	継続			
未来産業の推進（半導体産業、次世代自動車産業、宇宙産業）	15	「稼げるまち」への原動力～未来産業推進事業～	「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車などの未来産業について、研究開発や人材育成、企業競争力の向上などに取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を図る。	未来産業推進課	先進企業の集積	R7	7件	R5	3件	6件	200.0%									131,400	133,864	順調	北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車分野などの未来産業について、研究開発の助成やマッチング支援、講座・セミナーなどを開催し、企業競争力の向上につなげる取組を行った結果、目標値を上回ったため「順調」と判断。今後も、社会情勢やニーズ等に留意しながら、稼げるまちを目指した取組を行っていききたい。	拡充			
学術研究都市2.0戦略	16	「稼げるまち」への原動力～未来産業推進事業～	「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車などの未来産業について、研究開発や人材育成、企業競争力の向上などに取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を図る。	未来産業推進課	先進企業の集積	R7	7件	R5	3件	6件	200.0%									131,400	133,864	順調	北九州学術研究都市を中心に、半導体や宇宙、次世代自動車分野などの未来産業について、研究開発の助成やマッチング支援、講座・セミナーなどを開催し、企業競争力の向上につなげる取組を行った結果、目標値を上回ったため「順調」と判断。今後も、社会情勢やニーズ等に留意しながら、稼げるまちを目指した取組を行っていききたい。	拡充			
	17	学術研究都市管理運営事業（指定管理）	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図る。	未来産業推進課	産学連携施設の入居率	R9	64.1%	R5	65.0%	64.4%	99.1%									784,620	780,120	概ね順調	継続して効率的な施設の管理運営を行いコスト削減を図るとともに、入居者・一般利用者の声を受けて利便性向上や利用環境改善のために取り組むことで、産学連携施設の入居率の向上に努め、ほぼ目標値を達成しているため「概ね順調」と判断。今後も引き続き入居者・一般利用者にとって利用しやすい施設運用を検討するとともに、それぞれのニーズを真摯に受け止めて施設の利便性向上を図っていききたい。	継続			

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）									KPI（成果指標②）									予算額（千円）	決算額（千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値		実績値		達成率	事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値		実績値		達成率					
物流拠点化の推進	18	半導体等サプライチェーン構築事業	九州への半導体関連投資の増加による輸送需要増を新たなビジネスにつなげるため、北九州市につながる荷の流れを生み出し、輸送ネットワークを構築することで、九州における半導体サプライチェーンを支える「半導体物流ハブ」の形成を図る。	企業誘致課	流通加工機能を備えた大型物流施設の立地箇所数	R7	0箇所	R5	1箇所	1箇所	100.0%										25,000	4,998	概ね順調	北九州市を拠点とする半導体の新たな荷の流れを構築するため、本事業を通じて、物流機能の強化及び集荷促進に向けた基盤づくりに取り組んできた。半導体製造装置の輸送にあたっては、既存の輸送ルートの見直しに高い障壁があるものの、一定の輸送ニーズの可能性を確認することができた。本事業による新たな荷の流れには繋がっていないものの、「流通加工機能」を担うことができる大型物流施設が、令和6年度に操業を開始したため、概ね順調と判断。今後も大型物流施設の誘致・集積を図り、物流拠点都市としてのプレゼンス（存在感）を高めていく必要がある。	継続		
	19	九州発貨物の集約拠点化支援事業	九州の発貨物を北九州市に集積させる取組に対する支援として、北九州市中央卸売市場等における農産物を集約した首都圏又は関西圏向けフェリー輸送に対し、必要となる経費の一部を補助する。	企業誘致課	九州発農産物の集約拠点化	R7	R5.11より中央卸売市場内のストックポイント稼働	R5	ストックポイントの稼働率向上	ストックポイントの稼働率向上	—										13,000	4,003	概ね順調	「物流の2024年問題」の影響によりモーダルシフトが進み、令和6年の北九州港フェリー貨物取扱量が過去最高となった。また、ストックポイントを活用したトラック台数についても令和5年度と比較して増加傾向にあり、北九州市を集約拠点とする輸送の効率化が徐々に進んでいるため、概ね順調と判断。今後は、本事業を契機に北九州市を拠点とした荷の流れの定着につなげていく。	継続		
企業変革や企業規模拡大など地域中核企業の成長促進	20	「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト	将来の成長の糧となる新規事業創出など新たなチャレンジに対して総合的・集中的支援を行うことにより、企業変革や企業規模拡大を図り、市内の「地域中核企業」の成長を促進する。	産業政策課	新規事業着手等企業成長に取り組む企業数	R10	—	R6	—	—	—										6,000	2,796	概ね順調	令和6年度は、具体的な事業策定に向け、市内の「中堅中核企業」の成長戦略や課題を把握するため、ヒアリングやアンケートを行うとともに、中核企業ならではの課題やその解決事例等を学ぶセミナーを開催した。令和7年度より本格始動し、支援対象・内容等を拡充していく。	拡充		
市内企業における成長分野等への事業転換、商品・サービスの高付加価値化の推進（ロボット・DX・AIの活用など）	21	生産性向上、事業変革に向けたロボット・DX推進事業	市内中小企業のロボット導入やDX推進に向けて、ロボット・DX推進センターを中心に、企業の事業変革に向けた重点支援をはじめとした切れ目のない伴走支援を実施することで、稼げる企業を創出する。	中小企業振興課	事業変革実践企業数（累計）	R9	6社	R5	20社	10社	50.0%										249,400	217,529	やや遅れ	北九州市ロボット・DX推進センターを中心に、ロボット導入・DX推進に向けた機運醸成から実践まで切れ目のない支援を実施。支援により、ロボット導入・DX実践企業数は目標を達成した。一方で、DXによる事業変革を支援するDX推進補助金において、当初の見込みよりも採択件数が少なかったことにより成果指標の達成には至らなかった。採択者数が伸びなかった理由として、事業変革に向けた計画の検討にまで至っていない企業が多いことが想定される。	継続		
市内製造業（部品や素材などのサプライヤー）の事業構造転換の推進（「EVシフト」や「電炉化」などへの対応）	22	電炉化サプライチェーン対策支援事業	世界的な産業の脱炭素化が進む中で、製鉄業における高炉プロセスから電炉プロセスへの転換にあたり、これまで地元企業が培ってきた独自技術の活用や新たな事業展開を支援する。	中小企業振興課	事業変革等支援企業数	R9	—	—	10社	8社	80.0%										3,080	2,684	概ね順調	市内製造業を中心に、企業訪問し、高炉プロセスから電炉プロセスへの転換に伴い、必要・変更となる技術や企業動向のヒアリングを行った。また、必要に応じ、専門家派遣や国の補助金を始めとする支援情報の提供等を実施した。訪問した企業のうち事業変革等を支援した企業数が、目標の80%を達成しているため、「概ね順調」と判断。	継続		
中小企業の事業承継の推進（M&Aなど）	23	のれん引継ぎスタートアップ支援事業	後継者不在で悩む個店等の小規模事業者の事業承継を支援するため、民間事業者が運営するマッチングサイトのプラットフォームを活用し、後継者不在の個店と後継ぎ希望者を「ツナグ」ことで、次世代の開業支援と、個店の存続・廃業防止を図る。	中小企業振興課	売り手事業者の掘り起こし件数（サイト掲載件数）	—	—	—	5件	9件	180.0%										4,000	3,993	順調	市民アンケートを活用した後継者不在事業者の掘り起こし及び、11月、1月にセミナーを実施したことで、目標としていた掲載件数を達成し、1件成約となった。引き続き、後継者不在事業者の掘り起こしやセミナー等を実施し、掲載件数増加を目指す。	継続		
	24	事業承継・M&A促進化助成金	地域経済の基盤を支える市内中小企業がこれまで培ってきた技術や知識を円滑に次世代へ承継し、企業の存続・発展につなげるため、事業承継に向けた企業の取組に要する費用を助成し、事業承継の推進を図る。	中小企業振興課	事業承継計画の策定企業数及びM&Aの完了企業数の合計	—	—	—	2社	3社	150.0%											2,500	2,500	順調	助成金による支援企業数は上限に達し（目標：5社、実績：7社、予算執行率100%）、事業承継・M&Aを完了した企業数は目標件数を達成した。引き続き、助成金による支援企業数を増やし、事業承継・M&A完了企業数の増加を目指す。	継続	

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）						KPI（成果指標②）						予算額（千円）	決算額（千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性		
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値	実績値	達成率	事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値						実績値	達成率
II 「彩りあるまち」の実現																							
官民連携によるまちづくりの推進	25	商店街リノベーションまちづくり推進事業	商店街でまちづくりに取り組む民間事業者と連携してリノベーションまちづくり事業を実施することで、中心市街地の活性化及び商業的エリア価値の向上を図る。	サービス産業政策課	黒崎地区の商店街エリアの空き店舗率	R6	16.9%	R3	14.1%	18.4%	69.5%								4,000	2,965	やや遅れ	黒崎地区において、令和5年度に作成した空き店舗マップを活用し、テナントの出店促進に取り組んだ。また、市場調査や地域住民・地元関係者のニーズ調査、商店街の空き店舗を活用したDIYイベントを実施した。 「空き店舗率」の達成率は69.5%であるものの、官民連携によるDIYイベント等の開催を通じて、商店街活性化の新たな担い手の発掘や地域コミュニティの場の創出につながった。これまでのリノベーションまちづくりの取組によって、民間による自発的な動きが生まれ、自走化につながった。そのような状況に鑑み、当事業（予算）は令和6年度で終了となるが、まちや民間事業者に対して、既存の空き店舗補助制度等を活用しながら、引き続き伴走支援をしていく。	廃止
	26	商店街プレミアム付商品券発行支援事業	物価高騰の影響を受けている地域の消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、福岡県の助成制度を活用して商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行を支援する。	サービス産業政策課	消費喚起効果	R7	—	—	2倍以上を維持	4.9倍	245.0%								237,000	224,311	順調	福岡県の助成制度を活用して、商店街等が自主的に取り組むプレミアム付商品券の発行支援を行った。 電子商品券ベイチャの登録店舗数は増加（R4：1,947店舗、R6：2,043店舗）しており、消費喚起効果も充分維持できていることから、「順調」と判断。 ただし、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用している事業であるため、交付金を活用する他の事業との調整が必要であり、財源の確保が課題である。	継続
	27	商店街テナントリーシング支援事業	小倉都心部等における大規模空き店舗を資産として位置づけ、エリアの価値を高めるため、官民連携して集客力や話題性のあるテナントを誘致し、商店街の活性化と経済の振興を図る。	サービス産業政策課	歩行者通行量（小倉都心部）	R10	138,800人	R5	156,300人	157,105人	100.5%								5,000	5,036	順調	商店街、商工会議所、物件オーナー、北九州市による官民連携の実行委員会を立ち上げ、リーシングに関する勉強会の開催やテナント候補企業への提案書の作成・送付に取り組んだ。その結果、ランドオーナーの機運が醸成され、「大きなシャッターヒラックプロジェクト」の補助金の活用には至らなかったものの、募集物件のうち、2件についてテナント入居に向けた検討が進み、1件は入居が決定した。実行委員会が求めるテナント（初出店・新業態など）誘致に向けて、引き続き官民連携で取り組む必要がある。	継続
大型商業施設・商店街の振興	28	大きなシャッターヒラックプロジェクト	商店街テナントリーシング実行委員会が推薦する話題性・集客力のある大規模テナントを誘致する際のインセンティブとして、出店テナントに対し改装費等の経費の一部を補助する。	サービス産業政策課	歩行者通行量（小倉都心部）	R10	138,800人	R5	156,300人	157,105人	100.5%								20,000	0	順調	商店街テナントリーシング実行委員会が推薦する話題性・集客力のある大規模テナントを誘致する際のインセンティブとして、テナント候補企業への提案書に補助金概要を掲載し、テナント誘致に取り組んだ。その結果、ランドオーナーの機運が醸成され、「大きなシャッターヒラックプロジェクト」の補助金の活用には至らなかったものの、募集物件のうち、2件についてテナント入居に向けた検討が進み、1件は入居が決定した。実行委員会が求めるテナント（初出店・新業態など）誘致に向けて、引き続き官民連携で取り組む必要がある。	継続
	29	紫川エリア活性化支援事業	商業の振興とまちの活性化を図ることを目的として、小倉の中心市街地を流れる紫川河畔を拠点とし、都市の回遊性の向上及びナイトタイムエコノミー（夜間における経済活動）の創出に寄与するイベントを実施する事業者に対し補助金を交付する。	サービス産業政策課	観光消費額	R10	1,004億円	R5	—	集計中	—								10,000	10,000	順調	補助制度の公募を行い、「小倉LIGHT SYMPHONY リバーサイド&KOKURA CASTLE クリスマスマーケット」を採択し、イベント開催にかかる経費の一部の補助を行った。 企画段階での来場予定者数は50万人であったが、実際の来場者数は126万人という予定者数を大幅に超える結果であったことから「順調」と判断。 イベントを継続的に実施することで、イベント認知度を高め、北九州市の新たな風物詩企画となるよう今後も支援していく。	継続

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI（成果指標①）						KPI（成果指標②）						予算額 （千円）	決算額 （千円）	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性	
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値	実績値	達成率	事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値						実績値
都市ブランドの確立（ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ）	30	地域の人事部支援事業	若い世代の人材不足が強まるなか、採用にコストや人を割けない中小企業では、人材確保が困難な状況にあるため、企業合同による人材の発掘からマッチングづくりを一気通貫で支援し、若手人材の確保と定着を図る。併せて、経営層等に対して、多様な人材が働きやすい環境づくりや、人材育成など人的資本経営の重要性を理解するためのマインドセットセミナーを行いサポートする。	雇用・産業人材政策課	最終選考候補者数	R8	—	—	30人	30人	100.0%							20,000	19,280	順調	<p>当事業では、「地方創生」「業界研究」「マーケティング」などのワークショップや2泊3日の合宿などを年間通して、市内外の大学生と市内企業の人事担当者が共に取り組んだ。こういった学生と企業との交流を深めることにより、「地元で貢献したい」から「市内企業を知ってもらおう」に繋げ、「地元で就職し、自分達が地元を盛り上げる」というマインドを高めていった。</p> <p>事業後半には、企業とのマッチングイベントや模擬面接など、就職に直結するコンテンツを用意し、学生の地元就職への確度を高めるプログラムを展開した。</p> <p>令和7年度は、令和6年度の取組に加え、参加企業の福利厚生や働きやすさ等の自社の魅力を学生にプレゼンし、それを学生が評価・順位付けを実施する「自社の自慢コンテスト」の開催や、若手社員のエンゲージメント向上のため、異業種間の若手社員交流会や合同研修も開催し、企業の人材定着の推進を図るために事業拡充する。</p>	拡充